

2016年度第2四半期 決算説明会資料

東ソー株式会社
2016年11月8日

目次

1. 2016年度の業績動向
2. 主な事業の成長戦略
3. 研究開発
4. 株主還元
5. 中期経営計画の進捗

1. 2016年度の業績動向

1-1. 2016年度上期決算概要

(単位:億円)		2015年度 上期実績	2016年度 上期実績	前年比		
売	上	高	3,854	3,371	▲483	
営	業	利	322	413	+ 92	
経	常	利	326	366	+ 40	
純	利	益	194	249	+ 55	
前 提	ド	ル	121.87 円/\$	105.20 円/\$	▲16.67 円/\$	
	ユ	ー	口	135.11 円/€	118.04 円/€	▲17.07 円/€
	ナ	フ	サ	48,000 円/kl	31,300 円/kl	▲16,700 円/kl

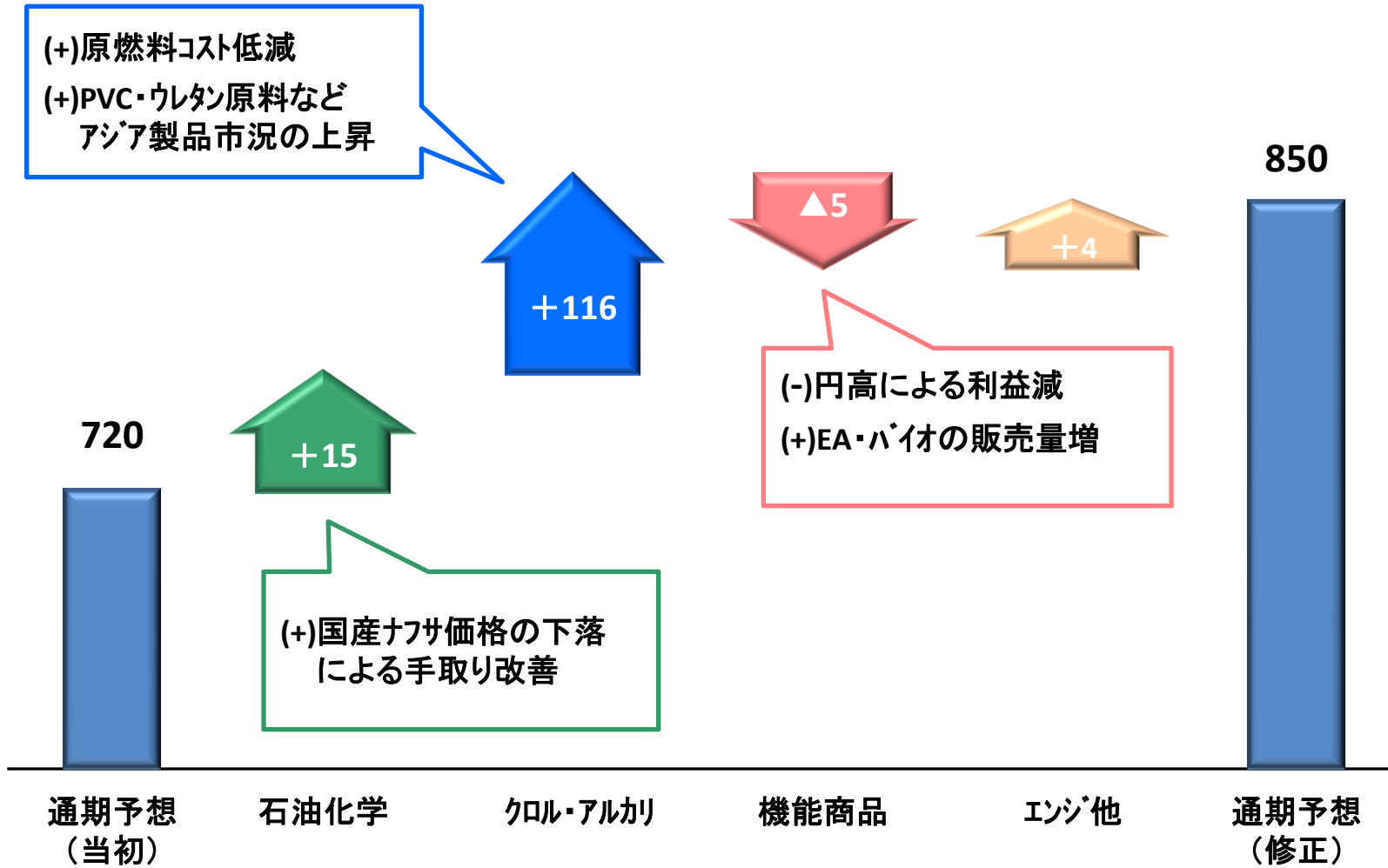
1-2. 2016年度通期予想

		2016年度				
		上期実績 (単位: 億円)	下期予想 (新)	通期予想 (新)	通期予想 (当初)	通期差異
売上高		3,371	3,529	6,900	7,200	▲300
営業利益		413	437	850	720	+130
経常利益		366	434	800	720	+ 80
純利益		249	291	540	470	+ 70
前提	ドル	105.20 円/\$	100.00 円/\$	102.60 円/\$	110.00 円/\$	▲7.40 円/\$
	ユーロ	118.04 円/€	110.00 円/€	114.02 円/€	120.00 円/€	▲5.98 円/€
	ナフサ	31,300 円/kl	36,000 円/kl	33,650 円/kl	40,000 円/kl	▲6,350 円/kl

1-3. 2016年度通期予想(セグメント別)

(単位:億円)		2016年度				
		上期実績	下期予想 (新)	通期予想 (新)	通期予想 (当初)	通期差異
売上高	石油化学	730	782	1,512	1,623	▲111
	クロル・アルカリ	1,262	1,299	2,560	2,638	▲ 78
	コモティティ計	1,991	2,081	4,072	4,261	▲189
	機能商品	823	771	1,594	1,651	▲ 57
	エンジニアリング他	557	678	1,234	1,288	▲ 54
	計	3,371	3,529	6,900	7,200	▲300
営業利益	石油化学	73	92	165	150	+ 15
	クロル・アルカリ	134	172	306	190	+116
	コモティティ計	207	264	471	340	+131
	機能商品	183	131	314	319	▲ 5
	エンジニアリング他	23	42	65	61	+ 4
	計	413	437	850	720	+130

1-4. 営業利益増減分析(セグメント別)



2. 主な事業の成長戦略

2-1. 石油化学セグメント

事業分野	方向性	取組み
オレフィン事業	<ul style="list-style-type: none"> ナフサクラッカーの高稼働維持による利益極大化 	<ul style="list-style-type: none"> 各留分をバランス良く自消・販売し、クラッカーの高稼働を維持 エネルギー原単位改善による競争力強化 適正なスプレッドを乗せた価格体系の構築
ポリマー事業	<ul style="list-style-type: none"> 差別化、高付加価値化 	<p>＜ポリエチレン＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 食品・医療・電子分野向け特殊グレードの国内拡販及び海外展開強化 品質改良によるハイエンド分野への参入 <p>＜機能性ポリマー＞</p> <ul style="list-style-type: none"> CR: 得意グレード(硫黄変性、金型非汚染)の拡販 CSM: 第2プラントの新設 新規ポリマー(耐油性向上)の上市

事業分野	方向性	取組み
化学品事業	<ul style="list-style-type: none"> ● ビニルチェーンの全体最適による利益極大化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 競争力ある原燃料の安定調達の追求 ● 発電設備効率化、電力託送等による競争力強化 ● フイリン子会社(PRII社)でのPVC生産能力増強 ● ソーダ・塩素誘導品の収益力強化
ウレタン事業	<ul style="list-style-type: none"> ● MDIの高付加価値化、機能性ウレタンの強化 	<p><MDI></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「汎用品」から「特殊品」、「単品販売」から「システム販売」へのシフトを加速 ● 東南アジア、インド、北米への販売強化 <p><機能性ウレタン></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 医療分野(シール材等)での拡販 ● HDI誘導品の生産能力増強

2-3. 機能商品セグメント

事業分野	方向性	取組み
高機能材料事業	<p><ハイシリカゼオライト></p> <ul style="list-style-type: none"> ● タイムリーな新グレード開発・能力増強 <p><ジルコニア></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 差別化グレードの継続投入、能力増強 <p><電子材料関係></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 高機能化 	<p><ハイシリカゼオライト></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新グレード開発体制の強化 ● HSZ[®]製造設備をマレーシアに新設(16年11月完工) ● 次期能力増強 <p><ジルコニア></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 歯科材料:透光感グレードの拡充 ● 装飾用途:顧客ニーズにマッチした材料開発の迅速化 ● ジルコニア生産能力増強(四日市、16年10月完工) ● 新規用途の開拓、次期能力増強 <p><電解二酸化マンガン></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 高性能乾電池用途での差別化 <p><石英ガラス></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 製造コスト低減による競争力強化、新規素材の開発 <p><スパッタリングターゲット></p> <ul style="list-style-type: none"> ● タッチパネル用途での拡販・高性能品開発

2-3-2. 機能商品セグメント

事業分野	方向性	取組み
有機化成品事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 既存製品の収益力強化、新規製品の事業安定化 	<ul style="list-style-type: none"> ＜エチレンアミン＞ <ul style="list-style-type: none"> ● ハイアミン化による利益極大化 ＜ウレタン発泡触媒＞ <ul style="list-style-type: none"> ● TOYOCAT®: 高機能品の拡販に注力 ● RZETA®: 欧米での販売強化 ＜臭素・難燃剤＞ <ul style="list-style-type: none"> ● 臭素製造設備の効率化投資(17年春完工)
バイオサイエンス事業	<ul style="list-style-type: none"> ● R&D・M&Aによる事業領域の拡充、新興国市場での拡販 	<ul style="list-style-type: none"> ● M&Aを活用した新技術・新製品の獲得 ＜計測分野＞ <ul style="list-style-type: none"> ● バイオ医薬向けカラム・分離精製剤の新グレード開発 ● トヨパール(分離精製剤)の能力増強(18年夏完工) ＜診断分野＞ <ul style="list-style-type: none"> ● 成長分野での特徴ある試薬項目の拡充 ● Tosoh India(15年Lilac社買収)を活用したインド市場の開拓

3. 研究開発

3. 研究開発

● **重点3分野** **ライフサイエンス** **電子材料** **環境・エネルギー**

● **四日市研究新棟建設・拠点集約による機能効率化およびシナジー強化**

- 効率化** ・高分子材料研究所の統合(南陽・四日市2拠点⇒四日市集約)
- シナジー強化** ・ウレタン研究所の四日市移転による石油化学・ポリマー製品の技術シナジーの強化
- 開発加速** ・最新設備の導入による研究開発の加速、新製品の創出

事業領域／拠点	研究所	対象分野	開発テーマ
スペシャルティ製品／南陽事業所	有機材料研究所	電材 環エネ	・有機EL用電子・正孔輸送材料 ・環境浄化用薬剤
	無機材料研究所	ライフ 電材 環エネ	・歯科用セラミックス材料 ・触媒用ゼオライト ・リチウム二次電池用材料
石油化学・ポリマー製品／四日市事業所	ファンクショナルポリマー研究所	電材	・ディスプレイ用光学ポリマー ・高機能性ポリマー
	高分子材料研究所	ライフ	・医療用ポリマー材料
	ウレタン研究所	ライフ 電材 環エネ	・機能性ウレタン材料
先端技術創出／東京研究センター	ライフサイエンス研究所	ライフ	・診断システム、試薬 ・医薬精製用分離剤
	アドバンストマテリアル研究所	電材	・電子デバイス用薄膜形成材料 ・半導体・LCD用石英ガラス

● **事業領域の拡大と技術獲得へ向けた技術情報収集力の強化とM&A**

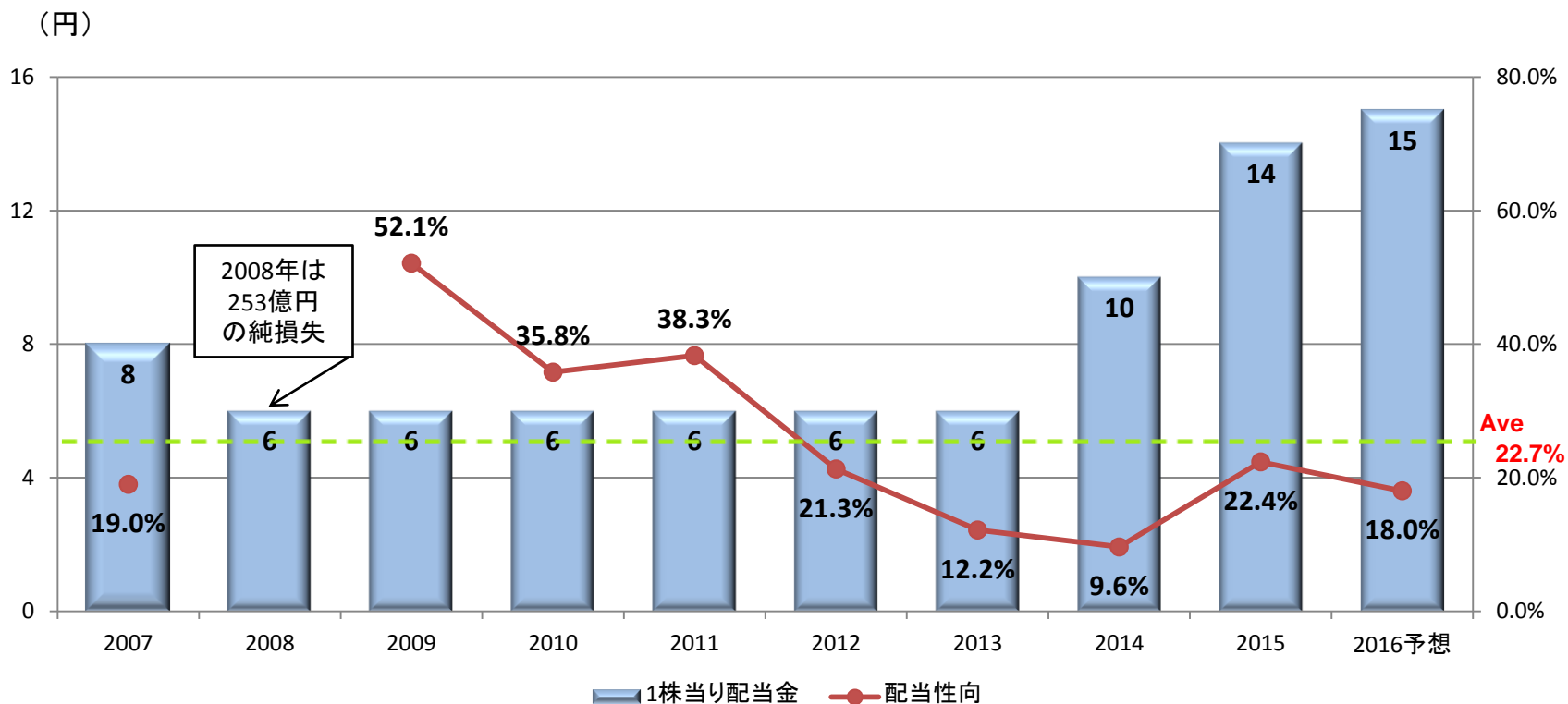
- 事業領域拡大・技術獲得** ・米国サンフランシスコに拠点開設

4. 株主還元

4. 株主還元

- 安定配当の継続(期間業績・フリーCF・将来の事業展開等を総合的に勘案)
- 中長期的には、配当性向30%を目指す

2016年度配当額: 上期 7.5円、下期 7.5円 計 15円



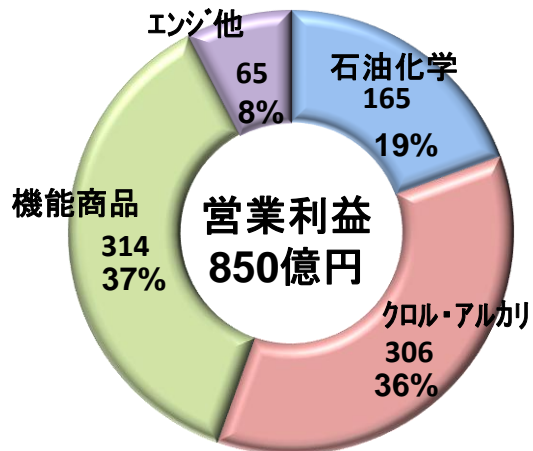
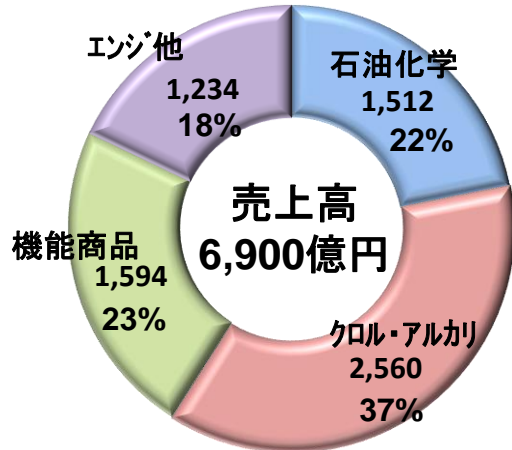
5. 中期経営計画の進捗

5-1. 業績・経営指標

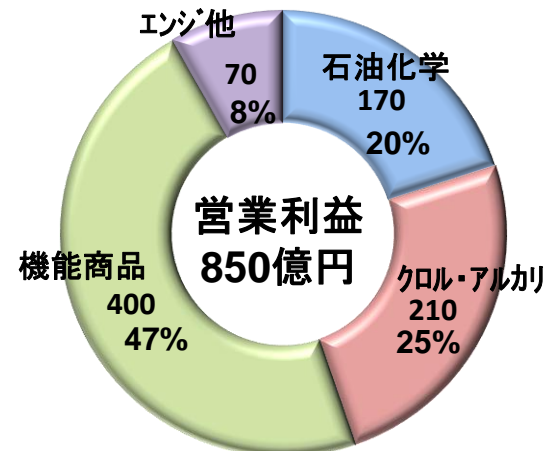
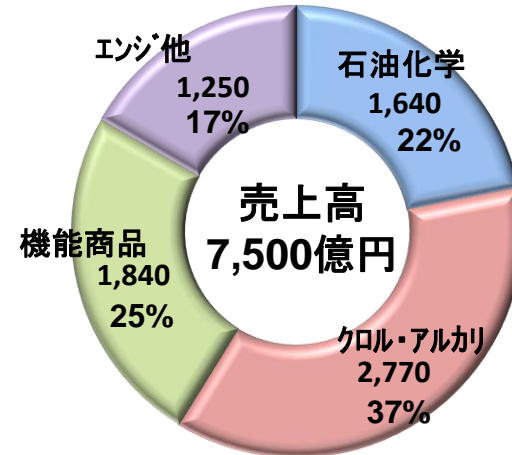
(単位:億円)	2015年度 実績	2016年度		2018年度	
		通期予想	(上期実績)		
売上高	7,537	6,900	(3,371)	7,500	
営業利益	694	850	(413)	850	
営業利益率	9.2%	12.3%	(12.3%)	10%以上	
R O E	12.6%	15.0%	(-%)	10%以上	
自己資本比率	46.3%	50.0%	49.3%	50%以上	
前 提	ドル	120.15 円/\$	102.60 円/\$	(105.20 円/\$)	110.00 円/\$
	ユーロ	132.60 円/€	114.02 円/€	(118.04 円/€)	120.00 円/€
	ナフサ	42,800 円/kl	33,650 円/kl	(31,300 円/kl)	40,000 円/kl

5-2. 事業ポートフォリオ

2016年度

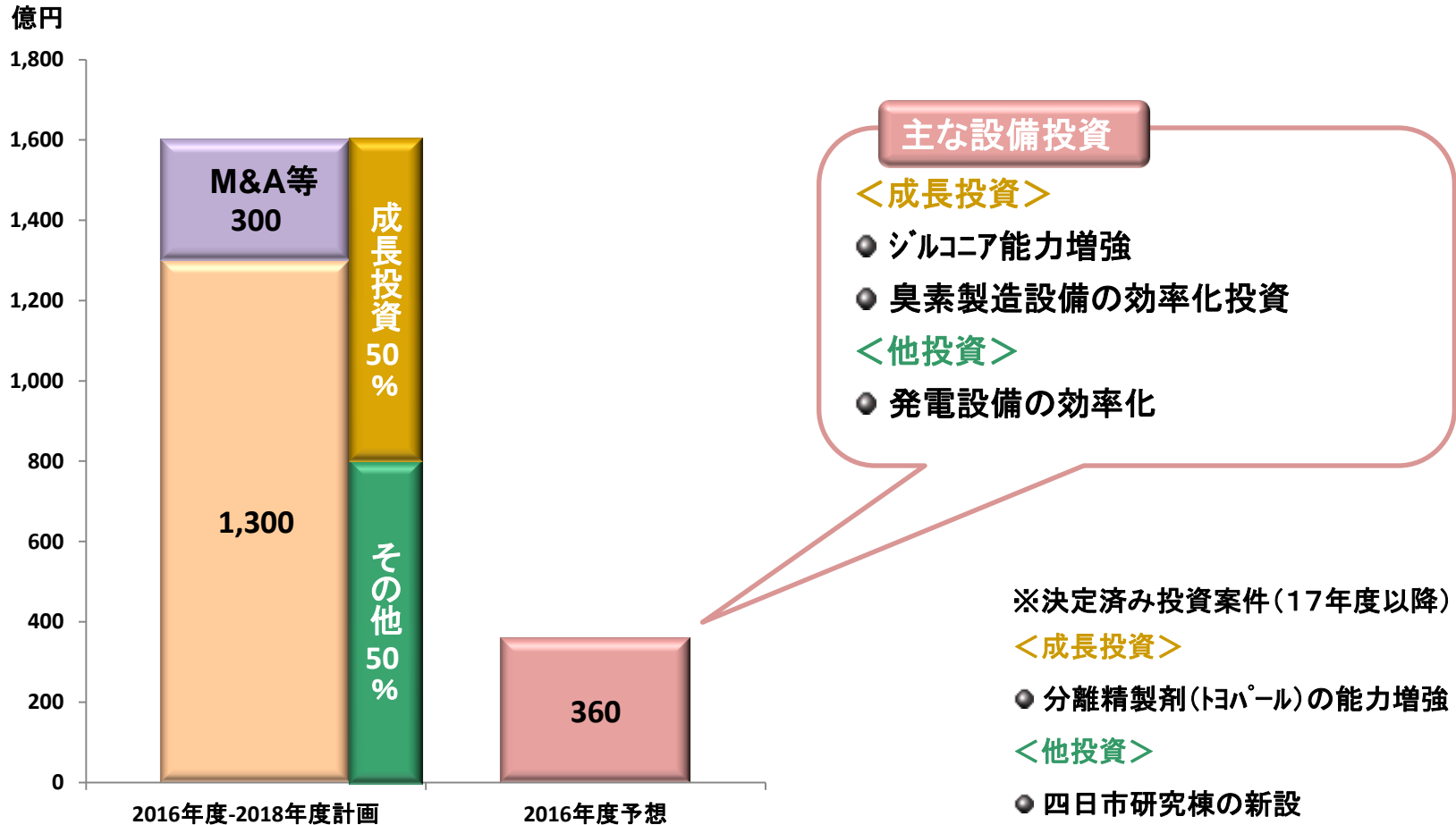


2018年度



5-3. 設備投資

● 2016～2018年度：設備投資 1,300億円 + M&A等300億円 = 1,600億円



《注意事項》

本資料の計画は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想です。

従いまして、今後の国内外の経済情勢や予測不可能な要素等により、実際の業績は計画値と大幅に異なる可能性があります。

(完)